

団体名	特定非営利活動法人 山形県自動車公益センター		
事業名	令和2年度 環境意識啓発事業 エコフォトコンテスト		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の所在市町村	山形市	事業費	957,539円
		うち助成金額	950,000円



○ 事業目的

一世帯当たりの車保有台数が全国トップレベルの山形県民にとって自動車は欠かせないものになっています。同時に山形には、豊かな自然があり日々の生活での心がけによってこの自然を守る重要性を認識してもらうことを本事業の目的としております。

○ 実施内容

令和2年10月24日(土)～25日(日)開催予定だった「令和2年やまがた環境展」は新型コロナ感染防止のためWEB開催となりました。このため同時開催で会場展示や表彰式を実施していた本事業も開催形式を変更し、優秀作品の新聞掲載によるマスコミ利用、当センターホームページでの発表及び霞城セントラル内山形観光情報センター等での巡回展示による開催で県民に周知しました。

○ 事業の成果

作品については、各テーマに沿って合計211点の応募を頂き、これまでにない最高の応募数となりました。これは、会場行事中止に伴う関心度低下を懸念して募集ポスター掲示場所の拡充等募集活動を強化したこと、又、コロナ禍による自粛生活の中で本事業に関心を持った人が増えたためではないか考えられ、県民への周知が拡大したとも考えられます。尚、県写真連盟会長を始めとした審査員による優秀作品の選考についても、初めての試みとして各人からの書類審査方式を取り入れるなど、より良い作品への興味・関心を促す選考となるなど、功を奏した展開となり、その後の新聞掲載、巡回展示により更なる広報活動を行い、受賞者には賞状、記念品を送付して賞揚しました。

○ 今後の展望

本年度はコロナ禍により会場行事が中止となったため、新聞掲載や霞城セントラル・やまがた観光情報センター、庄内(鶴岡市)のリサイクル施設で巡回展示を行い、広く県民に啓蒙活動を行いました。自然環境保護、省エネ・リサイクル推進は今後も避けて通れない課題であることから、それぞれの視点で気づく(感じる)エコを広く周知できるよう、アフターコロナでは会場行事を中心とした事業を再開し事業を継続して県民の関心を高めていきたいと考えております。

